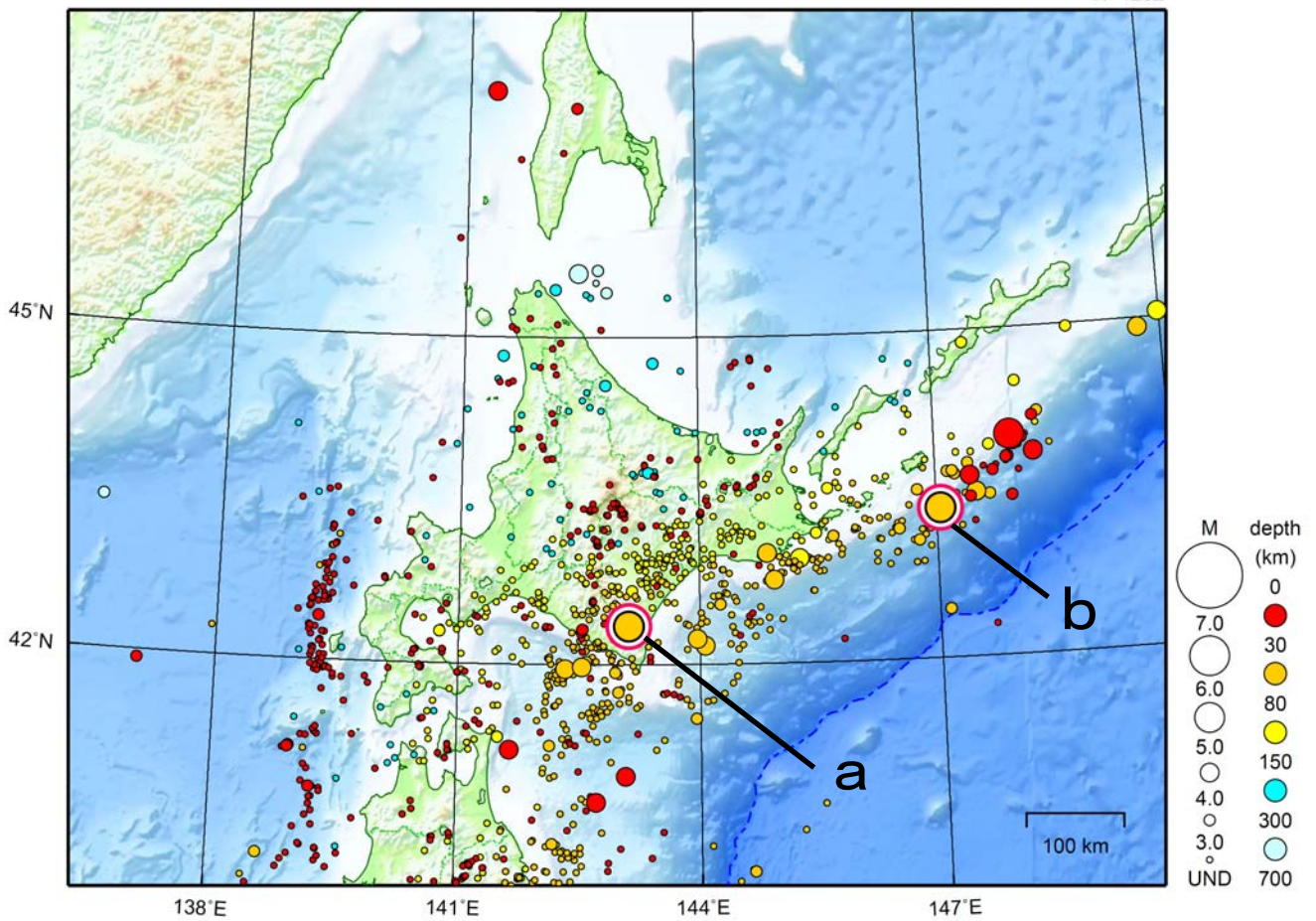


北海道地方

2010/01/01 00:00 ~ 2010/01/31 24:00

N=1232



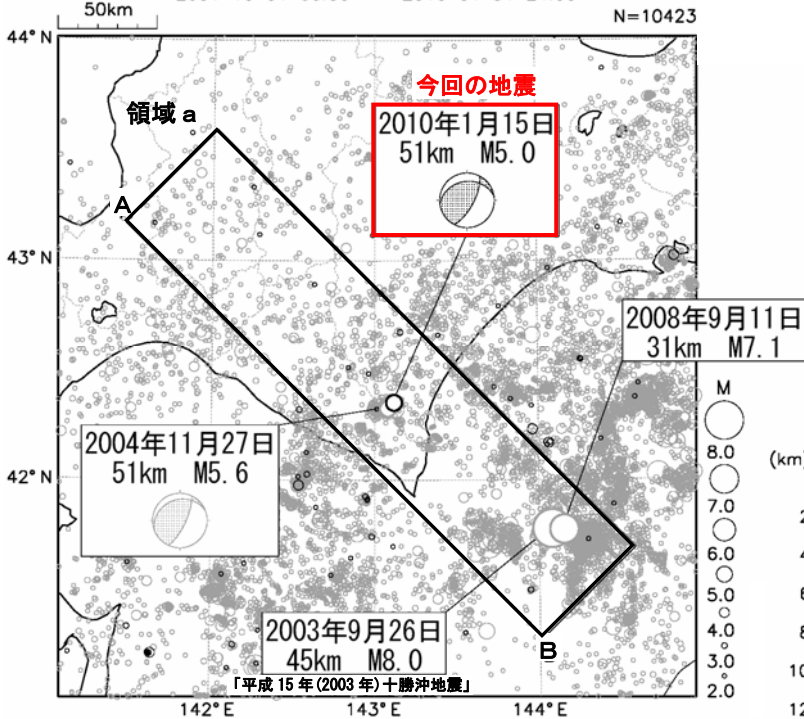
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 1月15日に十勝支庁南部でM5.0の地震(最大震度3)が発生した。
- b) 1月16日に北海道東方沖でM5.1の地震(最大震度3)が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

1月15日 十勝支庁南部の地震

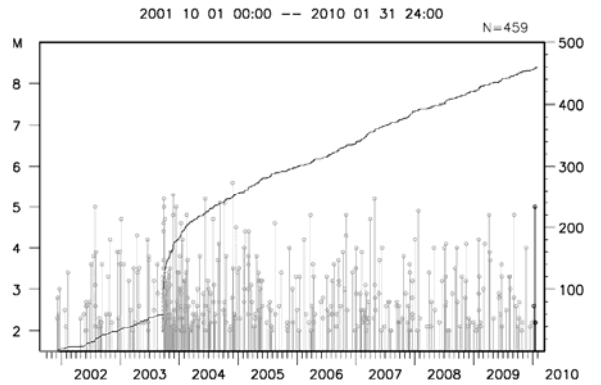
震央分布図
(2001年10月以降、 $M \geq 2.0$ 、深さ0~200km)
2010年1月1日以降に発生した地震を濃く表示
2001 10 01 00:00 -- 2010 01 31 24:00



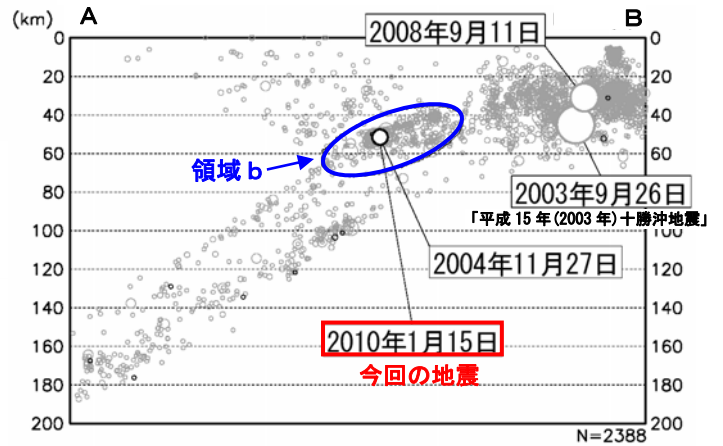
2010年1月15日03時46分に十勝支庁南部の深さ51kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

今回の地震の震源付近(領域b)は、「平成15年(2003年)十勝沖地震」の直後に地震活動が活発になった地域で、2004年11月27日にはM5.6の地震(最大震度4)が発生している。

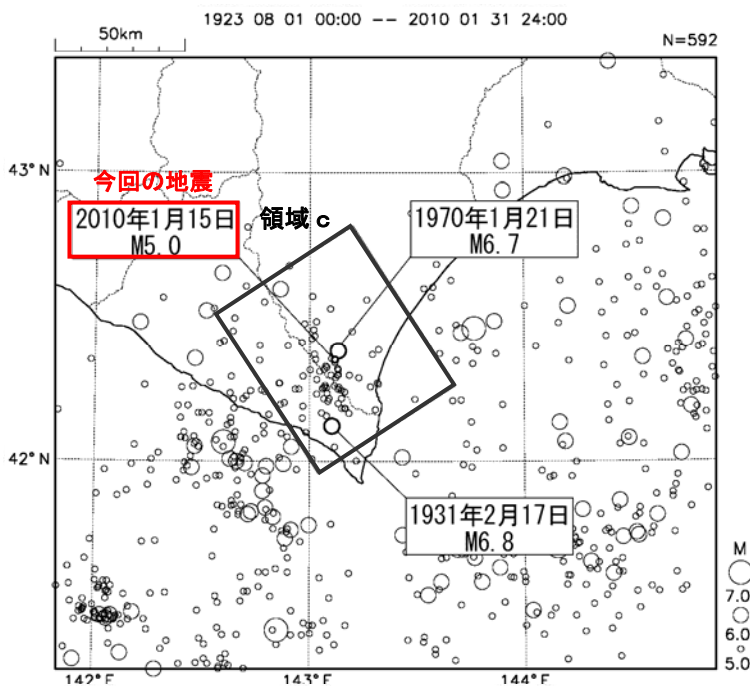
領域b内の地震活動経過図、回数積算図



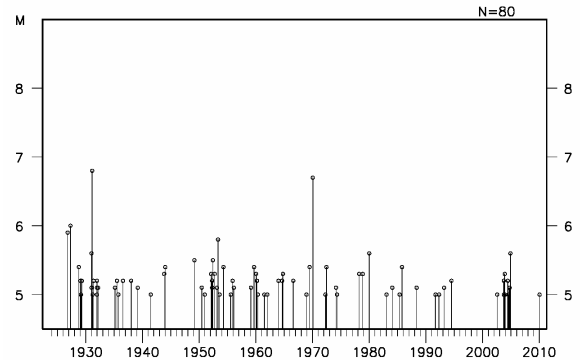
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1923年8月以降、 $M \geq 5.0$ 、深さ0~100km)



領域c内の地震活動経過図

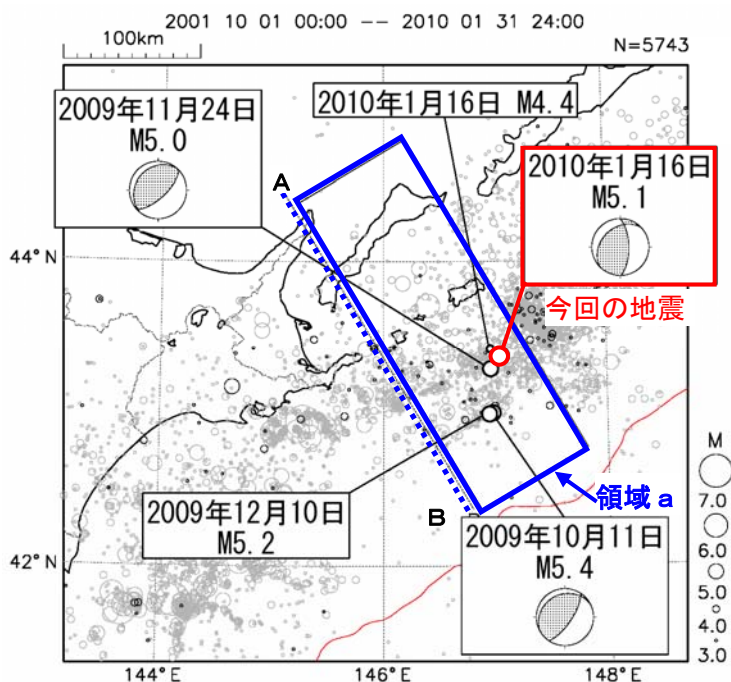


1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M5.0以上の地震が度々発生しており、1970年1月21日に発生したM6.7の地震(最大震度5)では負傷者32人、住家全壊2棟などの被害が生じた(被害は「最新版 日本被害地震総覧」による)。

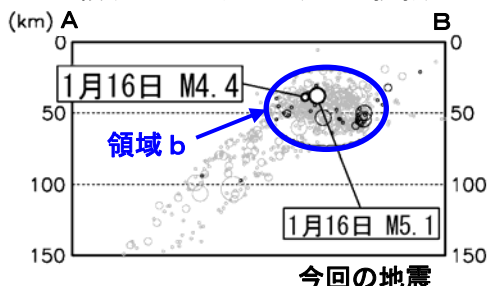
1月16日 北海道東方沖の地震

震央分布図

(2001年10月以降、 $M \geq 3.0$ 、深さ0~150km)
 ※発震機構はCMT解。2009年10月以降の地震を濃く表示。



領域a内の断面図(A-B投影)

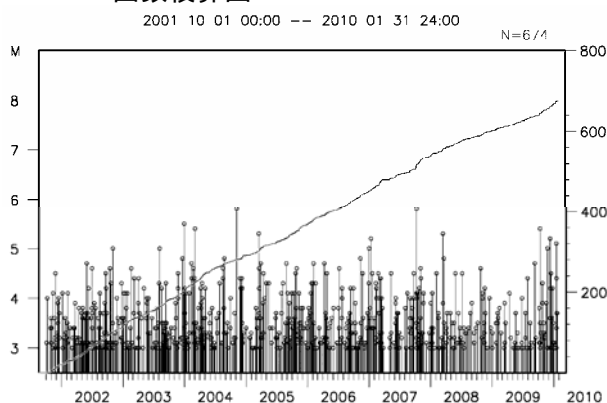


今回の地震

2010年1月16日00時44分、北海道東方沖の深さ38kmでM5.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震の後、16日17時34分にM4.4の地震(最大震度1)が発生した。

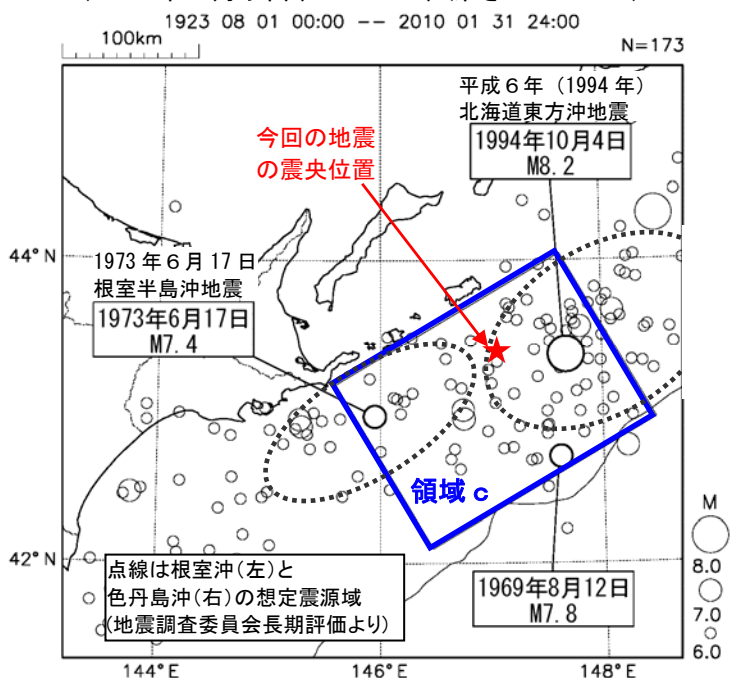
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域b)では、M5.0以上の地震が度々発生しており、最近では、2009年10月11日にM5.4の地震(最大震度3)が発生している。

領域b内の地震活動経過図、回数積算図



震央分布図

(1923年8月以降、 $M \geq 6.0$ 、深さ0~100km)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が時々発生している。「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」(M8.2、最大震度6)では、日本国内では負傷者436人等の被害や津波(国内の最大は根室市花咲の168cm)による被害も発生した(被害は「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域c内の地震活動経過図

